未来構想PF
プラットフォーム通信
第64号
平成31年3月15日発行
（社）未来のまち・交通・鉄道を構想するプラットフォーム

これからの地方、ITきっかけ「関係人口」に期待

朝日新聞 2019.03.05「波聞風問（はもんふうもん）」抜粋

旅番組で知られる関口知宏さんが主演する映画「波乗りオフィスにようこそ」を4月の一般公開前に観賞した。物語は、東京に本社を置くITベンチャー社長の関口さんが、3人の社員から問い詰められる場面から始まる。「2週間後には、新ソフトの開発が始まる。それまでに優秀なエンジニアを採用出来るんですか？」「今以上の仕事量には耐えられません」。追い詰められた関口社長は思い切った案を示す。「徳島にサテライトオフィスを構える。県内には光ファイバー網が張り巡らされ、インフラは整っている。昼休みはサーフィンができる」。

社員は手厳しかった。「サルやイノシシはいても、そんなところにエンジニアはいないでしょう」。ところが、サーフィンや狩猟、お遍路が趣味という若いエンジニアたちが首都圏などから求人に応募してきて、話は思わぬ方向に進み始める。

この映画、ほぼ実話に近い。舞台は徳島県美波町。人口7千余人の過疎の町だが、自然は豊かで海岸にはウミガメが産卵にやってくる。アウトドア派には魅力的だろう。

関口さんが演じたのは、地元出身の起業家、吉田基晴さんだ。30代前半の2003年、東京で会社を立ち上げたが人が集まらず、6〜7人の状態が続いた。ところがサテライトの開設を公表すると、数人の枠に10倍以上の応募があった。3年後の陣容は4倍、業績も拡大したという。

その後、町外から若い世代の流入が続いた。今では進出予定を含めるとサテライトは19社にのぼる。先に移った人たちが知人を呼び寄せる磁場が形づくられていった。

なぜ、こうした予想外のことが相次いで起きたのか。

吉田さんは言う。「最初に来た人は都市にはない自然を消費するだけでした。ただ、しばらくいると、地域のいろんな役割を任される。人から頼りにされていることを実感する。都市では感じにくい人のつながりです」。首都圏から移った一人は、集落の秋祭りの責任者を任された。

地元の人にとっても、都市の若い世代は刺激になった。彼らが見ていた県水産研究課が配信する海水温のデータに、漁師が驚き、スマホを使うようになった。彼らによる中学校への出前授業も始まっている。あちこちで、小さな「化学反応」が起きている。

これまで地域振興策といえば、工場や大学の誘致による人口増が期待された。だが美波町では、定住することを求めてはいない。サテライトが中心なので、仕事があるとき、イベントがあるときに、人々が都市から訪ねてくる。

「定住人口」ではない「関係人口」への期待だ。ITをきっかけに、ここでは世代や出身地を超えたアナログな人間関係が光り始めている。

（朝日新聞社編集委員　多賀谷勝彦）

WS（ワークショップ）

仙台地区ＷＳ研修　参加者の感想

（テーマ：東北地方で会社を立ち上げる（新規事業）としたら何をやるか）

仙台地区の WS 研修、全 3 回と濃密な WS 研修でしたが 1 月で終了、参加者に感想を聞いてみました。

①安田さん

他のメンバーの発表で、東北の良さに着眼していることや、特に自給自足という考えは新しく勉強になった。柔軟に物事を考える訓練になった。

②吉田さん

自身の提案は、東北にいる人たちで事業展開を考えたが、外国の人などを東北に来てもらうといった東北在住以外の方をターゲットにしている提案などもあり、いろいろな視点を聞くことができ勉強になった。

③佐藤さん

発電を事業化するなどのいろいろな意見を聞く中で、人をよぶ方法は観光に限らないと感じた。WS を通じて考えるトレーニングなった。

④角さん

WS での皆様の発表を聞く中で、様々な発想があると感じた。特に、テーマパークなど東北のシンボルとなるものがあればいいとは感じた。

⑤村﨑さん

カジノ・テーマパークなど少し実現が難しそうでも楽しそうな意見を出しても面白かったなと思う。いろいろ考えるのはとても面白かった。

⑥長崎さん

WS では、数値などを用いて提案いただいていたので、どういうプロセスで提案すればよいかというイメージもつき、各提案に実現性も感じた。

⑦関口さん

各メンバーとも数値を示して発表して、それを持って根拠を作っていたので、そういう発表をできればよかった。しかし、WS という機会で、自身で調べる中でも事業計画を見て根拠を作っていくというイメージは持つことができたと思う。

⑧鈴木さん

いろんな視点での各メンバーの新規事業を聞き勉強になった。一つの案としては、一つのアイデアをみんなでブラッシュアップしていっても面白いかと感じた。

⑨北嶋さん

もともと、実現性はわからなかったが太陽光で電車を走らせたいと思っていた。WS は自由な発想ということで、観点は違うが自由な発想で事業を考えられてとても楽しかった。

⑩村木さん

2 回目からの参加でしたが、若いメンバーに交じり、ファシリテーターをしつつ自らも 1 事業提案しました。普段の業務から離れた内容での系統を超えての議論、非常に良かったと思います。また、常にこのような思考回路を持って事にあたることの重要性を、再確認した次第です。

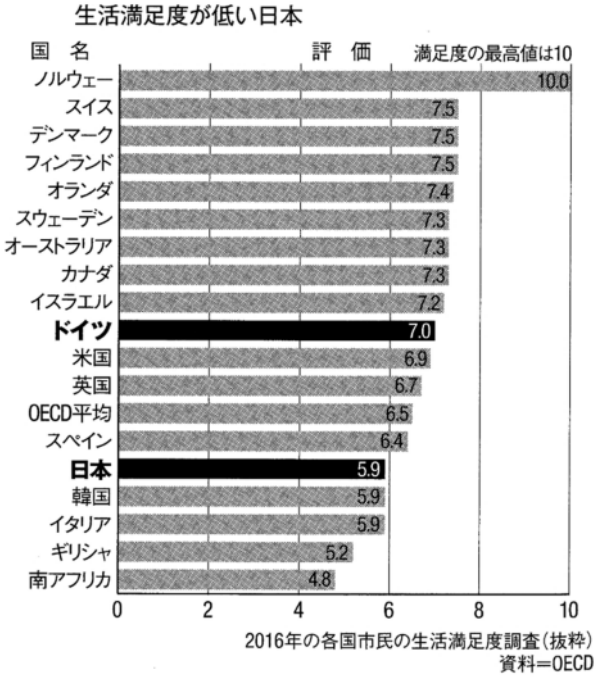
VOICE

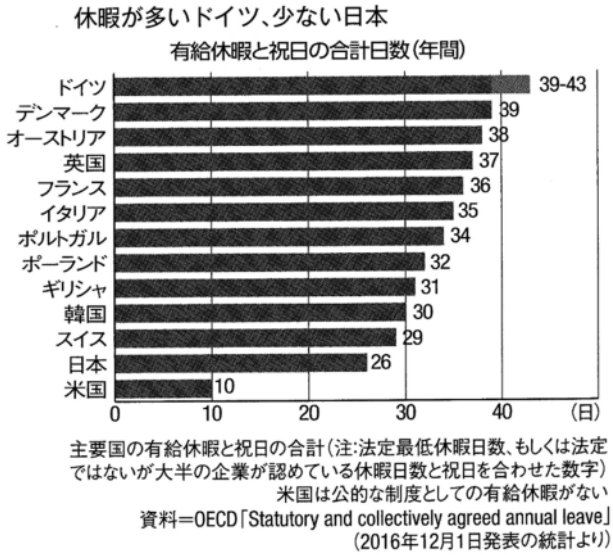
ドイツ人はなぜ、年 290 万円でも生活が「豊か」なのか

（著者　熊谷徹、青春出版社タイトル本より抜粋）

著者は 1990 年以来、ドイツのミュンヘンに住んで、この国の政治、経済、社会について本や記事を書いてきた。29 年間の定点観測で強く感じることの一つは、ドイツ人が金銭的に測ることができない価値を日本より重視しているという点だ。ここにはお金に換算できない「豊かさ」がある。このような書き出しで始まる「ドイツ人はなぜ、年 290 万円でも生活が豊かなのか」という本について紹介する。

□ドイツ人は概して、法律や規則に従って行動することを好み、安定や秩序を重んじる。カオス（ 混乱・混沌 ）が嫌いで、常にリスクについて考えをめぐらし、石橋を叩いて渡る保守性を持った国民である。ヨーロッパの中でも日本人の気質と近いものがある。
□ドイツ人は、効率性をきわめて重視する民族だ。無駄な仕事をしたり、無駄な時間を費やしたりすることをひどく嫌う。また、仕事をする時に「費用対効果」の関係を強く考えている。つまり管理職も社員も「この作業に時間を投資することで、具体的にどのような成果を期待できるのか」を常に考えながら働いている。さらにドイツでは、「1 日の労働時間が 10 時間を超えると、仕事の効率が目に見えて落ちるし、ミスをする危険が高まるので、長時間労働はしない」と考える人が多い。





（2015.08 初版「ドイツ人はなぜ、1 年に 150 日も休んでも仕事が回るのか」より抜粋）

■世界一便利な日本で「ゆとり」を感じられないのは何故？　本書の目次を以下に示す。

1. サービス砂漠のドイツ、おもてなし大国の日本
   ⇒でも、「便利さ」は「忙しさ」の裏返しである
2. みんなが不便を「ちょっとだけ我慢する」社会、
   ⇒他人のサービスに期待しすぎない気楽な生き方
3. お金の奴隷にならない働き方
   ⇒「ドイツの新しい通貨は自由時間」とは？
4. ドイツ人はお金をかけずに生活を楽しむ達人
   ⇒ドイツ流・明るいケチケチ生活の極意
5. 世界最大のリサイクル国家・ドイツ
   ⇒使い回し、分かち合い「お金に振り回されず」に生きる
6. 過剰な消費をしなくても経済成長は可能だ
   ⇒未来の世代に「豊かさ」を引き継ぐ、ということ
7. 「求め過ぎない」ことから始めよう
   ⇒真の「豊かさと安定」を手に入れる第一歩

■無為な時間は、無駄な時間ではない

脳科学の権威であるドイツ人教授は、「新しい発想を生むには、時間に追われる慌ただしい生活は適していない。ゆったりした時間が必要」と指摘、また「新しい知識や情報をむやみに頭に詰め込むことも、創造性を伸ばすには逆効果だ」と語っている。

■日本人が取り入れたい、ドイツ流・報われる働き方

1. 自分に与えられている権限の中で決められることは、自分の責任で判断する。
2. 打合せや会議は、どんなに長くても 1 時間以内に。
3. 報告やまとめは簡潔に、ペーパー1 枚以内にまとめる。
4. メールの送り先の数は最小限に、どうしてもという場合を除き CC はやめる。
5. メールを極力書かず、口頭で済む連絡は口頭で済ます。
6. 退社時、次の日に達成すべき課題を箇条書きにして自分の机の上に置き、優先順位も。
7. 重要で複雑な課題は、集中度が高い午前中に処理する。
8. どんなに忙しくても、労働時間が 10 時間を超えそうになったら退社する。
9. 繁忙期でも週に 1 度は早い時間に退社して仕事とは全く別な活動を行い、気分転換を図る。
10. 会社から与えられた有給休暇は思い切って全部消化してみる。ただし全員が交代で。
11. 長期休暇期間中は会社のメールは読まない。
12. 誰もがアクセスできる共有サーバーを作り、誰でもすぐに業務を担当できるようにする。
13. サーバー内の電子フォルダーは、単純に分類し誰でもすぐに書類が見つけられるように。
14. 生活リズムを朝型に変更し、1 日を有効に使う。仕事に集中してなるべく早く退社する。
15. 自分で入れる予定は 1 日 1 回に限る。社内の打合せがない週を月に 1 回もうける。
16. 以上について、少なくとも自分が属する部や課の上司や同僚に説明して理解を得る。
17. 週に一度はスポーツを。
18. 自分が会社で仕事をできる陰には、家族の協力もある。したがって退社時間を早めて、家族を大切にすることも重要だ。

たすきリレー

鉄道遺産の旅

明治時代以降、日本の近代化とともに発展してきた鉄道。その歴史を伝える"鉄道遺産"が全国に点在している。その中から、「車両」「駅」「施設」の代表的な各地の鉄道施設をピックアップ。日本を支えた産業遺産としての価値はもちろん、土地や人の関わりなどもふまえ、これからもずっと大切にしたい、鉄道が残してきた物語をたどる。

【１】SLやまぐち号　（懐かしくて新しい動く鉄道遺産）

山口線、新山口駅～和野駅（島根県）

昭和40年代、全国の蒸気機関車が引退するなかで、ファンや地元を中心にSL復活の機運が高まり、これを受け、1979（昭和54）年8月1日にSLやまぐち号が運転スタート、今年40年目を迎える。

【２】リニア・鉄道館（世界最高速の鉄道を目指して）

愛知県名古屋市

私たちに夢を与えてきた「世界最高速の鉄道」への挑戦。新幹線・リニアなどの世界最高速を記録した鉄道遺産というべき車両が一堂に会する「リニア・鉄道館」で、その挑戦の道のりをたどります。

【３】東京駅　（駅全体が歴史を刻み続ける文化財）東京都千代田区

国の重要文化財に指定されている現役の駅は2つ。2019年まで保存修理工事中の福岡県・門司港駅と、東京の顔・東京駅。遺産を大切にしつつ進化し続ける東京駅、昨年、丸の内駅前広場も完成、美しさに磨きがかかりました。

【４】旧豊後森機関庫（かつての九州の鉄道重要拠点に残る戦争の記憶）

大分県玖珠郡玖珠町

蒸気機関車が活躍していた時代、久大本線の中継拠点として栄えた豊後森駅。ここには戦火をくぐり抜けた機関庫や転車台などの遺構が残り、往時の面影を今に伝えています。

【５】四国鉄道文化館（四国の地で長く愛されてきた車両たち）

愛媛県西条市

山越えの土讃線、潮風を浴びて走る予讃線。風光明媚ながら険しい地形の四国を走った懐かしい車両たちが集います。

【６】旧手宮鉄道施設（北海道開拓使時代の鉄道を知る）

北海道小樽市 小樽総合博物館本館

石炭の搬出で栄えた小樽の面影が残る、「小樽総合博物館本館」。北海道における本格的鉄道のルーツといえるスポットを訪れました。

【７】鉄道″土木″遺産　（後世に残したい橋梁＆トンネル）

①タウシュベツ川橋梁（北海道河東郡上町）

1937年竣工を迎えるも糖平ダム完成により1955年から湖底に沈み、渇水期のみ姿を見せることから″幻の橋″とも呼ばれている。

②老ヶ辻橋梁（京都府長岡京市）

1876年の竣工で、今も、まち中で東海道本線を支える3径間連続レンガアーチ橋。

③筑後川昇開橋（福岡・佐賀県境）

1987年竣工の九州の筑後川に架かる珍しい橋。橋梁の中ほど長さ約24mの可動橋が、船の通行時などに高さ約23mまで上昇する。

④吉野川橋梁（徳島市）

1934年に竣工した日本初の3径間連続トラス橋。構造はシンプルだが迫力ある鉄橋である。

⑤丹那トンネル（静岡県熱海市から田方郡函南町を貫く）

1934年に開通、それまで御殿場を経由していた東海道本線を大幅に短縮。北伊豆地震や崩壊事故を乗り越えて苦難の後に開通。坑門上部に2578年着工2594年開通と皇記で示されている。

⑥アプトの道（群馬県安中市）

1893年にアプト式を取り入れて開通し、1963年新線に移り廃止された。信越本線横川駅～軽井沢駅の一部を遊歩道に整備、一般的に見学が難しいトンネル内を散策出来る。

（ジパング倶楽部2018年5月号に掲載された特集の抜粋：事務局）

①タウシュベツ川橋

②老ヶ辻橋梁

③筑後川昇開橋梁

④吉野川橋梁

⑤丹那トンネル

⑥アプトの道

NEWS

■山本会長が講演（2019.02）

建設コンサルタンツ協会は、戦後のインフラ整備事業の代表的な 100 プロジェクトを選び連続講演会を開いている。国鉄のプロジェクトとして「五方面作戦～今日の首都圏都市鉄道の基盤を築いた国鉄による空前絶後の通勤鉄道改善プロジェクト～」が選出され、第 6 回（2019 年 2 月）で、山本会長、岡田宏さん、家田教授、JR 東日本東京工事事務所正能室長が講演、300 名超が参加、非常に好評であった。

【参考】インフラ整備 70 年連続講演会（戦後のインフラ整備事業 100 プロジェクト）

2018.09.20　第 1 回　黒部川第四発電所（社運を賭けて人跡未踏の秘境黒部に水力発電ダム建設）
2018.10.12　第 2 回　地下鉄丸ノ内線（戦後の苦難の中で建設、東京都心の大発展を導く）
2018.11.26　第 3 回　大阪と京都の都心部での鉄道延伸事業（京阪電鉄）
2018.12.26　第 4 回　首都高中央環状線 47 ㎞の整備の歴史（環境への配慮、高架から地下へ）
2019.01.29　第 5 回　渡良瀬遊水地物語（治水・環境改善と公園化）
2018.02.28　第 6 回　五方面作戦（首都圏通勤鉄道改善プロジェクト）
2018.03.11　第 7 回　国道 45 号線（三陸海岸の命の綱、大津波による分断と復旧）

■東北大震災から８年（各誌が“特集”で報道しましたが、その一部を抜粋）

【日経新聞】 東日本大震災から 11 日で８年。平成としてこの日を迎えるのは最後だ。原子力発電所の事故が重なった福島県ではなお４万人以上が非難を続けている。岩手、宮城県などの被災地もコミュニティの再建に時間がかかっている。復興のペースを緩めず、生活や産業の確かな再建につなげなければならない。平成という時代に刻印を残した惨禍の記憶を語り継ぐ努力もいる。被災地の将来像を描き直し、設置期限が迫る復興庁の役割も考える必要がある。

【朝日新聞】 震災の津波で大きな被害を受けた宮城県沿岸部で、復旧・復興を実感する人の割合が減少に転じたことが、県による県民意識調査でわかった。被災者の生活環境や地域社会の構築策に対する満足度が低下。震災８年でインフラ復興が進む中、新たな課題を浮かび上がらせた。

【毎日新聞】11 日で東日本大震災から８年。津波で 1700 人以上が犠牲となった岩手県陸前高田市では、今も復興工事が続く。ライトアップされた「奇跡の一本松」の向こうに、建設中の防潮堤と、戻りつつある街のあかりが見えた。

[写真 :3 月９日　小川昌弘さん撮影]

■最近の気になるニュース

岩井有人さん（JR 東日本東京工事事務所）の Facebook より抜粋させて頂きました。

① 羽田新線、29 年度にも開業、空港～東京駅 18 分（02.16）

JR 東日本は羽田空港と東京都心を結ぶ新路線「羽田空港アクセス線」について、5～6 月に、東京駅方面とつなぐ「東山手ルート」の環境影響評価に着手すると発表。2029 年度の開業を目指す。羽田空港と東京駅を約 18 分で結び、約 10 分短縮。

② マニラ、鉄道整備に「東京式」（03.07）

フィリッピンのマニラで、東京をモデルとした鉄道整備が動き出した。日本の政府開発援助（ODA）で同国初の地下鉄や郊外と中心部を結ぶ通勤鉄道を建設。不具合が頻発する既存路線も改修する。事業費は計 2 兆 5 千億円に上り、各事業に日本企業が参加する。

③ 自動運転、法整備が前進（03.09）

日本でも自動運転の普及に向けた環境整備が進む。政府は閣議決定した道路運送車両法の改正案で、特定の条件下でシステムが全ての運転を担う「レベル 4」まで安全確認の仕組みを規定。道路交通法改正案は条件付きで運転者にスマホの操作などを認めた。

・北海道新幹線　本州からの乗入客数減少　震災の影響も（03.14）
・民間企業上位 50 社による AI 特許この 3 年間、米中が逆転（米国 12・中国 19）（03.10）
・相乗りタクシー解禁へ、距離に応じて割り勘清算（03.08）

・地銀やバス、政府が統合促す。独禁法審査に例外規定（03.05）
・住みたい街、横浜が 2 年連続で首位（03.01）
・京急、10 月に羽田空港線値下げ（02.20）
・横浜ロープウエー計画、桜木町から港までの 630m を約 3 分で（02.15）

■シビル NPO 連携プラットフォーム（CNCP）が会報 第 59 号 を発行

◇シリーズ 「土木ということば」第 11 回　「建設」ということば
◇巻頭言　一周遅れの先頭　NPO 法人　道路の安全性向上協議会　専務理事　吉川良一
◇コラム　フランクルの人間性心理学と自己超越性　東京都市大学副理事長　皆川　勝
◇土木と市民社会をつなぐ　第 3 回　土木と市民社会の溝はどうして出来る？
◇部門活動紹介　土木学会連携部門　シビル NPO 推進小委員会の活動
◇会員からの投稿　世界の古代文明を継承する日本文化について
◇サポーターからの投稿　インフラメンテナンスにおける市民参画に向けた啓発方策

＊ホームページがリニューアルされました。是非ご覧ください。
＊詳細はCNCP事務局にお尋ねください。
Email: info@npo-cncp.org　HP: http://npo-cncp.org

今月の国際比較データ

① 外国人が、最も生活の質が高いと感じる国ランキング

出典：Expat Insider 2017

Expat Insider 2017 では、188 の国と地域に住む 12,500 人を対象にアンケート調査を実施し、レジャーオプションの有無や旅行や交通機関の充実ぶり、健康・福祉・医療費・生活費などの 43 項目と、幸福度を測るための質問を行い、「外国人が感じるクオリティ・オブ・ライフの高い国」をランク付けしている。なお、ランキングに参加したのは外国人にとって生活拠点や旅行の目的地となり得る 65 カ国。

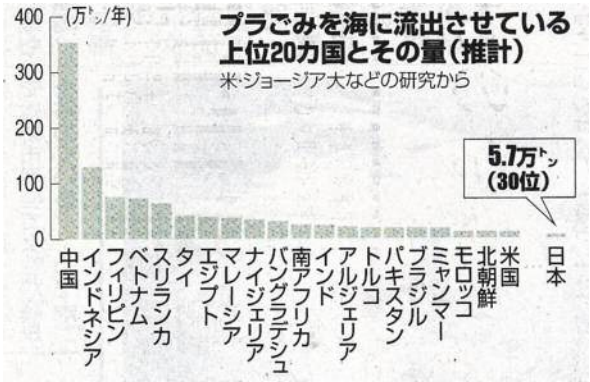
順位	レジャーオプション	個人の幸福度	交通機関	健康・福祉	安全・セキュリティ	総　合
1位	スペイン	メキシコ	シンガポール	台湾	スイス	ポルトガル
2位	ポルトガル	バーレーン	香港	オーストリア	ノルウェイ	台湾
3位	メキシコ	ポルトガル	スイス	デンマーク	シンガポール	スペイン
4位	南アフリカ	コスタリカ	チェコ	スウェーデン	日本	シンガポール
5位	コスタリカ	コロンビア	ドイツ	フィンランド	ルクセンブルグ	チェコ
6位	コロンビア	スペイン	台湾	ドイツ	アラブ首長国連邦	日本
7位	オーストラリア	マルタ	オランダ	日本	カナダ	オーストリア
8位	マルタ	フィリピン	オーストリア	ノルウェイ	フィンランド	スイス
9位	ニュージーランド	ベトナム	日本	ポルトガル	オマーン	コスタリカ
10位	エクアドル	ニュージーランド	韓国	コスタリカ	デンマーク	ドイツ
	日本は３３位	日本は４８位				

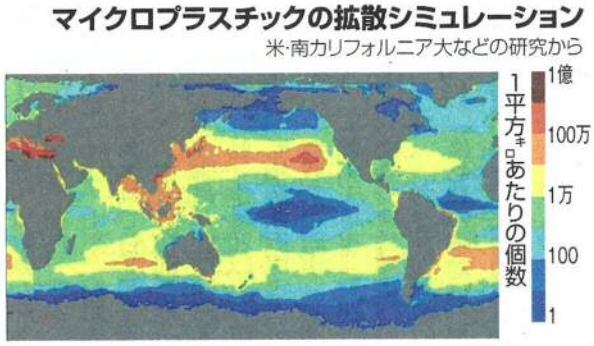
② プラスチックごみによる海洋汚染　　出典：朝日新聞　2019.02.17

プラスチックは便利で役に立つ反面、自然環境に大きな負荷をかけている。プラスチック汚染は世界の海に広がっており、50 年までに海中のプラスチックが「世界中の魚の総重量を超える」と警告されている。死んで海岸に流れ着いたクジラの胃から大量のポリ袋やペットボトルが、こんなニュースもある。

海に出たプラごみは海流に乗って特定の海域に集まり、米カリフォルニアからハワイにかけての北太平洋海域にごみベルトが広がる。特に危惧されているのが、プラスチックごみが紫外線などで劣化し細かく砕けた主に 5 ミリ以下の粒「**マイクロプラスチック**」だ。有害な化学物質を吸着しやすく、生き物（魚や海草）を経由して人間の口から入る事例も多く見つかっている。

日本国内で販売されるペットボトルは年間 236 億本にのぼるが、9 割は回収されリサイクル率も約 85%と欧米を大きく上回る。

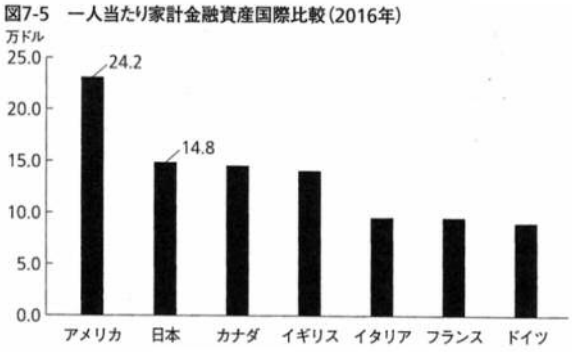


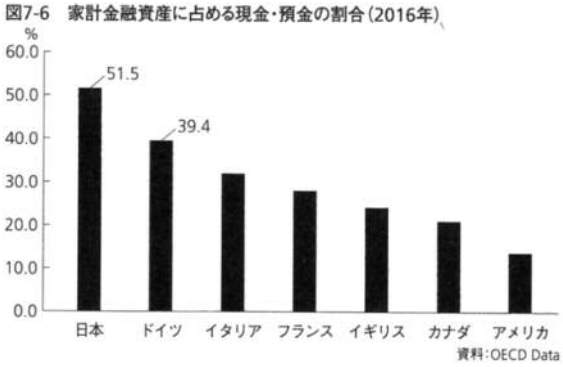


③ 家計に占める金融資産

出典：データが語る日本財政の未来　明石順平著　インターナショナル新書.01.24

一人当たり家計金融資産を G7（先進 7 カ国）各国と比較すると、日本は米国に続く 2 位となっている。また、家計金融資産に占める現金・貯金の割合は、他の 6 ヶ国を大きく切り離しての 1 位である。日本の国債は今まで約 90%が国内で買われているが、実は、その原資はこの預貯金で、すなわち日本政府は日本人から借金をしているといえる。





ＰＦ書店

① 秘蔵カラー写真で味わう 60 年前の東京・日本　J・ウォーリー・ヒギンズ著　光文社新書

普通のモノクロでしか見ることの出来ない昭和 30 年代の日本を、カラー写真で記録していた人物が、アメリカ出身の日本の鉄道をこよなく愛する元祖「撮り鉄」の著者である。国鉄の顧問として日本全国をくまなく訪問し、趣味の鉄道写真を中心に、当時としては超贅沢なカラーフィルムで日本の風景を撮影してきた。半世紀以上の歳月を経て、今なお色褪せない 6000 枚の中から、選りすぐりの 382 枚を、当時の想い出話とともに公開。鉄道写真に写り込んだ、生活感溢れる風景ポートレートの数々には、東京五輪を前に激変する東京の様子や、今では失われてしまった懐かしい地方の街の風景、人々の様子が記録されている。

② データが語る日本財政の未来　明石順平著　インターナショナル新書

公的データによる 150 以上のグラフや表を用いて、国債、異次元的金融緩和、人口減少、税収などあらゆる角度から日本財政の問題点を分析、破綻寸前の日本財政を検証。財政楽観論を完全否定し、通貨崩壊へと突き進む日本の未来に警鐘を鳴らす。政府総債務残高の対 GDP 比が、先進諸国で唯一 200%を超えている日本財政。借金返済を先送りした結果、日本は膨大な債務に足を引っ張られ、それが経済成長にも悪影響を及ぼしていると著者は断言している。

③ ０から１をつくる　本橋麻里著　講談社現代新書

著者は平昌オリンピックで銅メダルを獲得。そのチーム「ロコ・ソラーレ」を立ち上げ、現在はチームを法人化し代表としてマネジメント及び後進の育成に携わっている。ゼロは最強です。アイデアと体力さえあれば何でも生み出すことができる。0 から始めることができれば、理想の 10 に向けた 1 を作れる。メダリストが初めて明かす、コミュニケーション術、組織マネジメント術、リーダー論・・・。サブタイトルは「地元で見つけた世界での勝ち方」、「何もない」は最強、「地方だから」を言い訳にしない。

事務局通信

◇国際比較データ募集

毎号数例の国際比較データを掲載し皆様に楽しんで頂いています。分野は問いません。もし何か国際比較データを目にされたら、事務局（下記連絡先）までご一報をお願いいたします。

◇PF 書店で紹介する推薦図書募集

毎号数編の図書を紹介しています。最近手に取った、読んでみて面白かった、何でも結構ですので事務局（下記連絡先）までご一報をお願いいたします。

（事務局）

今月の写真コーナー

気象庁には、1 日の最高気温を 2 月 1 日から毎日足していき、600℃になったら桜が開花するというデータがあるそうです。今年は気温の高い日が多く、東京では 3 月 20 日頃には 600℃に達する見込みで、28 日頃には満開の可能性もあるとか。お花見は早めに設定した方がよさそうです。

昨年の写真ですが、関東地方の花見の名所をいくつか紹介します。

【赤城南面千本桜（群馬県／前橋市）】

【常陸風土記の丘（茨城県／石岡市）】

【六義園（東京都／文京区）】

【小田原城址公園（神奈川県／小田原市）】

プラットフォーム通信では、メンバーの皆様の投稿をお待ちしています。
連絡先：未来構想 PF 事務局 土井　携帯:090-9150-8613 メール：info@miraikoso.or.jp
〒100-6005　東京都千代田区霞が関 3-2-5 霞が関ビル 5F-28